

# 新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日11月21日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介いたします。インターネット予約・貸出は、11月28日（火曜日）からです。

## 『蕎麦の旅人』

福原 耕／著、文芸社／刊、請求記号：383.8/F,75

内容：ソバの起源地は何処？ 何故そば湯を飲むのか？ 50年前、出雲で出会った「割子三代そば」に一目ぼれし、そばの実の中に棲む「魔物」に憑かれてしまった著者が、各地に花咲く「郷土そば」の歴史と文化とおいしい話を伝える。

著者紹介：昭和10年生まれ。大阪府出身。大阪大学法学部卒業。松下電器産業株式会社(現Panasonic)代表取締役専務などを経て、同社終身客員。HP『蕎麦の旅人』主宰。

## 『紙の上の動物園』

シャーロット・スレイ／著、グラフィック社／刊、請求記号：460.8/SL

内容：18～19世紀の博物学者が、生物の世界を記録・分類しようとして取り上げた貴重な作品、名もなき画家の美しい作品を、手描き写本、稀少な印刷・版画、本や学会誌から厳選して紹介する。動物画の役割や歴史も紐解く。

著者紹介：イギリス・ケント大学科学史講師。科学史、科学文献、科学通信の専門家。

## 『日高 敏隆』

日高 敏隆／著、平凡社／刊、請求記号：480.4/H,54

内容：チョウ、ネコ、人間…。自然の世界は生き物たちの不思議と知恵でいっぱい！日本の動物行動学の第一人者として活躍した日高敏隆の、ユーモアと発見に満ちた随想を収録。もっと日高敏隆を知りたい人のためのブックガイド付き。

著者紹介：1930～2009年。東京府生まれ。東大大学院修了後、理学博士号取得。動物行動学者。滋賀県立大学初代学長、総合地球環境学研究所初代所長などを歴任。

## 『日本刀が斬れる理由(わけ)、美しい理由(わけ)』

松葉 國正／著、BABジャパン／刊、請求記号：756.6/Ma,73

内容：日本刀には、21世紀の技術をもってしても解明されず、このまま謎として残ってしまう事になりそうな領域がある-。刀匠であり武道家でもある者だけが知る、日本刀の秘密を伝える。写真も多数収録。

## 『落語とは、俺である。』

立川 談志／著、竹書房／刊、請求記号：779.1/Ta,94

内容：落語界の風雲児=立川談志が、落語を通じて「人間」と「芸術」の本質を語る、珠玉の「落語学」。インターネット通信制大学の映像講義をもとにした、最初で最後の講義録を書籍化。

著者紹介：1936～2011年。東京都生まれ。16歳で5代目柳家小さんに入門。27歳で真打となり、5代目立川談志を襲名。落語協会脱会後、落語立川流を創設し、家元となる。

**佐賀県立図書館** 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail [saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp](mailto:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp)